

教育理念・教育目標・行動目標

教育理念

本校は、人により添い、生きることを支えるために、専門的知識及び技術を習得するとともに、深い人間愛と高い人間性を涵養し、社会に貢献する理学療法士・作業療法士を育てます。

教育目標

1. 人の思いや痛み、苦しみや喜びを共感できる豊かな人間性の育成
2. 他職種と連携して自己の役割を果たせるコミュニケーション能力の育成
3. 人が抱える問題を論理的・創造的に解決できる思考力の育成
4. 科学的根拠に基づいた確かな専門知識・技術の育成
5. 専門職として生涯にわたり学習し、研鑽し続ける意欲の育成

行動目標

1. 人を一個の人格を備えた生活者として捉えることができる
 - a. 自己的人間観や性格傾向を言葉で説明できる
 - b. 他者に共感しそのことを相手に伝えることができる
 - c. 利用者の生活環境を「当事者の視点」で具体的に述べるができる
2. 理学療法または作業療法を行うための評価と目標設定ができる
 - a. 基礎的な面接技術を用いて初歩的カウンセリングができる
 - b. 適切に情報収集(含検査・測定)を行いストレングス・ニーズを評価できる
 - c. 評価結果を総合的に解釈しリハビリテーション目標を立てることができる
3. 理学療法または作業療法の科学的知識・技術を医療の場で応用できる
 - a. 人間の成長や行動などを理解するための基礎知識を持ち応用できる
 - b. 解剖・生理学などの基礎医学と臨床医学の概要を理解し応用できる

- c. 種々の病態・特性に応じた治療のための知識と技術を行使できる
4. 理学療法または作業療法を保健・福祉、地域ケア及び教育領域に応用できる
- a. 健康・生活状況を評価しリハビリテーション計画を立案できる
 - b. ケア計画において各種社会資源の活用を具体的に提言できる
 - c. 利用者の生活・教育環境を評価し改善方法を提言できる
5. 理学療法士または作業療法士として必要な(倫理的)判断と行動ができる
- a. 個人情報保護・倫理に配慮してインフォームドコンセントができる
 - b. 所属部署の管理運営に必要なマネジメントができる
 - c. 適宜報告、連絡、相談、職種との連携ができ、各種記録・報告書が書ける
6. 自己の能力向上と専門性の発展のために行動できる
- a. 問題解決に不足している知識・技術を得るために自ら行動できる
 - b. 倫理的・科学的視点で他者とディスカッションできる
 - c. 専門性に関する研究のための方法論を持ち応用できる